

愛の便り

校訓: 志が人生を創る

雲仙市立愛野中学校 学校便り

令和6年 8月 9日

第95号

文責 (校長; 末永栄喜)



盛夏に打ち克ったその先にある成果を!!

「暑い!!」一日の中で何回口にするでしょうか。いやもはや、言葉にも出ないほどの酷暑。梅雨が明けてからは雨も降らないどころか、冷却効果の夕立さえなく、日増しに最高気温を更新する日が続いています。学校ではどの蛇口をひねってもしばらくお湯しか出ません。気象庁によりますと、「直近30年間の猛暑日の平均年間日数(約2.9日)は、統計当初の1910~39年の30年間(約0.8日)と比べ、約3.8倍となった」と、どこかのサイトで見つけましたが、単年だけで言えば今年の7、8月はまさに異常としか言えません。地球温暖化のレベルを超え、まさに「地球沸騰化」を肌で感じざるを得ませんね。

さて、夏休みも今日でちょうど半分が過ぎました。規則正しい生活はできていますか。これまで、熱中症とみられる体調不良の報告を数件受けています。大事には至らなかったとはいえ、引き続き注意をお願いします。睡眠と休養、そして食事は十分取ることが何より大切です。後半の3週間も以下のことを毎日チェックしながら過ごしましょう。ご家庭でももう一声、叱咤激励のメールをお願いします。

- 毎朝、ほぼ決まった時刻に自分で起きている。
- 毎晩、ほぼ決まった時刻に寝ている。
- 朝・昼・夜、3食きちんと摂っている。
- 部活動には休まず参加している。(1、2年生)
- 受験勉強は順調だ。(3年生)
- 夏休みの課題は順調に消化している。(指定された日にきちんと提出できる。)

駅伝部の毎朝の早朝練習にもたくさんの子もたちが参加し、黙々と走り込んでいます。また、3年生が退いた後の部活動にも、1、2年生が新チームとして練習に励んでいます。3年生の中には、毎日登校して自主学習に励んでいる生徒もいます。その日、そして週単位で振り返ったとき、学習を中心とした生活、つまり、「**正課**(正規の授業=正式な授業科目)」をおろそかにしていませんか。前半が過ぎたということは、計画通りに進んでい

れば課題も半分以上は終わっているはず...、ですよね。体とともに頭も鍛えましょう。先生たちも、この夏休みは(夏休みだからこそ)研修に出かけたり、各種の会議等に出席したり、あるいは2学期の授業に備えた忙しい日々を送っています。生徒諸君、「これだけは(これも)がんばった」と形に残せるもの、つまり**成果**を示すことはできますか。残る後半もやるべきことをきちんとこなしつつ、有意義で健全な夏休みにしましょう。連日の猛暑・酷暑に加えてオリンピック関連の放送もあり、ついついリズムが乱れてしまいがちです。(7時間の時差を無視してLIVE中継を観戦している人はいませんか。)

事故やケガ、病気、そしてコロナ感染にも十分注意して過ごしてほしいと思います。来週はお盆です。私も久しぶりに熊本の家へ帰って、**英気**を養ってきたいと思っています。

県中総体を終えて

去る7月21日から23日にかけて開催された県中総体に、本校からも個人・団体種目にたくさん出場しました。各地区の予選を勝ち上がった強豪

が集う県大会の壁は高く厚いものでしたが、その中でも九州・全国大会への切符を手にした生徒もいます。県大会そのものの結果報告は過日、安心メールで配信済みですので割愛させていただきます。九州大会の結果が分かり次第、配信したいと思います。吉報を待ちましょう。

県大会では各種目で善戦が続き、「来年こそはもう一つ上を」と、参加した選手は新たな目標を抱く貴重な経験ができました。選手の皆さん、暑い中での奮闘に拍手を送ります。よく頑張りました。次年度の出場に向けて、これからも毎日の練習をがんばってください。



◆表彰関係(大会報告を含む)

◎第74回「社会を明るくする運動」弁論大会(8/2)
(第17回雲仙市中学生弁論大会)

※最優秀賞(雲仙市長賞) 大津 蓮(3年)
演題「救いの手とは」

見事なスピーチで、8月12日(大村市)に開催される県大会出場を決めました。大会の様子は地元ケーブルテレビでも放映が予定されているようです。大津さんを含め、中学生弁士の発表をご覧ください。(8月13日(火)初回は7時から、リピート放送は10、12、15、19、22時から)



◆第53回長崎県少年軟式野球大会(長崎ビッグN)

8/4 1回戦 対 西海中 0対3 ○(勝利)

8/5 2回戦 対 芦辺中 3対3●(タイブレーク後抽選負け)

◆吹奏楽コンクール県央大会 **銀賞**

7月27日(土)、長崎ブリックホールで行われた大会に出場しました。今年度は自由曲に自信を持って臨みましたが、念願のゴールド金賞には一歩届きませんでした。

秋の定期演奏会に向けて気持ちを新たに練習に励んでいるところです。その前に、愛野夏祭りでも素敵な曲を披露してくれることでしょう。また、7月24日には時津カナリーホールで行われたNHK合唱コンクールにも、本校から10名の生徒が出場しました。大きな舞台で貴重な経験ができたことと思います。これも、次年度につながるものを得たことでしょう。応援と声援、ご支援に感謝します。ありがとうございました。

平和集会で足元の「平和」を考える

今日は8月9日、長崎県民にとっては特別な日です。本校でも例年のように平和集会を行いました。この猛暑の影響を考慮して、当初からオンラインでの集会を計画していました。実行委員の子どもたちも前日まで休み返上で準備を進めていました。各学年とも、1学期に総合的な学習の時間で取り組んだ調べ学習の内容を分かりやすくまとめ、説得力のある発表でした。

世界に目を向けると、今もなお戦禍に苦しむ人々がいることに心を痛めることは中学生ならば当然のことです。では、自分に何ができるかを考えた場合、正直難しいことかもしれません。しかし、自身の生活の中に「平和の砦」を築くことはできるはずで、被爆者である下平作江さんは、「『**平和**』とは人の痛みがわかる心を持つ事です」という言葉を遺されています。重たい言葉ですね。(裏面は平和宣言掲載)



平和宣言文

今から79年前の1945年8月9日雲一つない晴れた暑い日の午前11時2分、長崎市松山町の上空500mで一発の原子爆弾が爆発しました。無差別にそして悲惨な歴史上の出来事を絶対に忘れてはいけません。そして、二度と繰り返してはいけません。

そのたった一つの原子爆弾が奪ったもの
長崎県の町並みと7万人を超える人々の命
そして、たくさんの人々の『夢』『希望』『未来』

あれから79年、私たちは、幼い頃から「戦争」「核」の恐ろしさを学んできました。そして今年『日本の戦争』『第二次世界大戦後の戦争』『今起きている戦争』について学びました。

今この時間も世界で戦争によってなくなっている方々がたくさんいます。人間同士で争いあい、傷つけて苦しむ戦争はとても悲惨で恐ろしいことです。しかし、私たち一人ひとりが認め合い、思いやりの心を持つことで世界から戦争がなくなり、平和へとつながっていくはずです。

『ビリョクだけど ムリョクじゃない』これは2001年1月長崎の高校生から始まった「長崎高校生1万人署名活動」のスローガンです。始めた年は28,045名の高校生中心の署名から始まり、そこから全国・世界に平和の輪が広がり、今までに累計千三百七十万二千三百四十五名の署名を集めています。そして、代表の高校生が国連へ平和大使として毎年この署名を届けています。

私たちは、未来に向け平和を祈るだけでなく、実現していかなければなりません。そのために、私たちができるのは、一人ひとりが思いやりの気持ちを持ち、自ら進んで行動すること。日頃から挨拶を交わし、人とのつながり『絆』を作っていくこと。差別や偏見のない社会や、誰もが笑顔でいられる未来を目指すことが大切です。

私たちは、世界でも例のない被爆地である長崎県に住んでいます。この「長崎」・「愛野」から、人のために世界のために地球のために未来のためにそして世界平和の実現のために共に歩むことをここに宣言します。

2024年8月9日 愛野中学校生徒一同